

生物工学科 外部講師講演会の紹介

医療におけるバイオテック/ロジーの活用

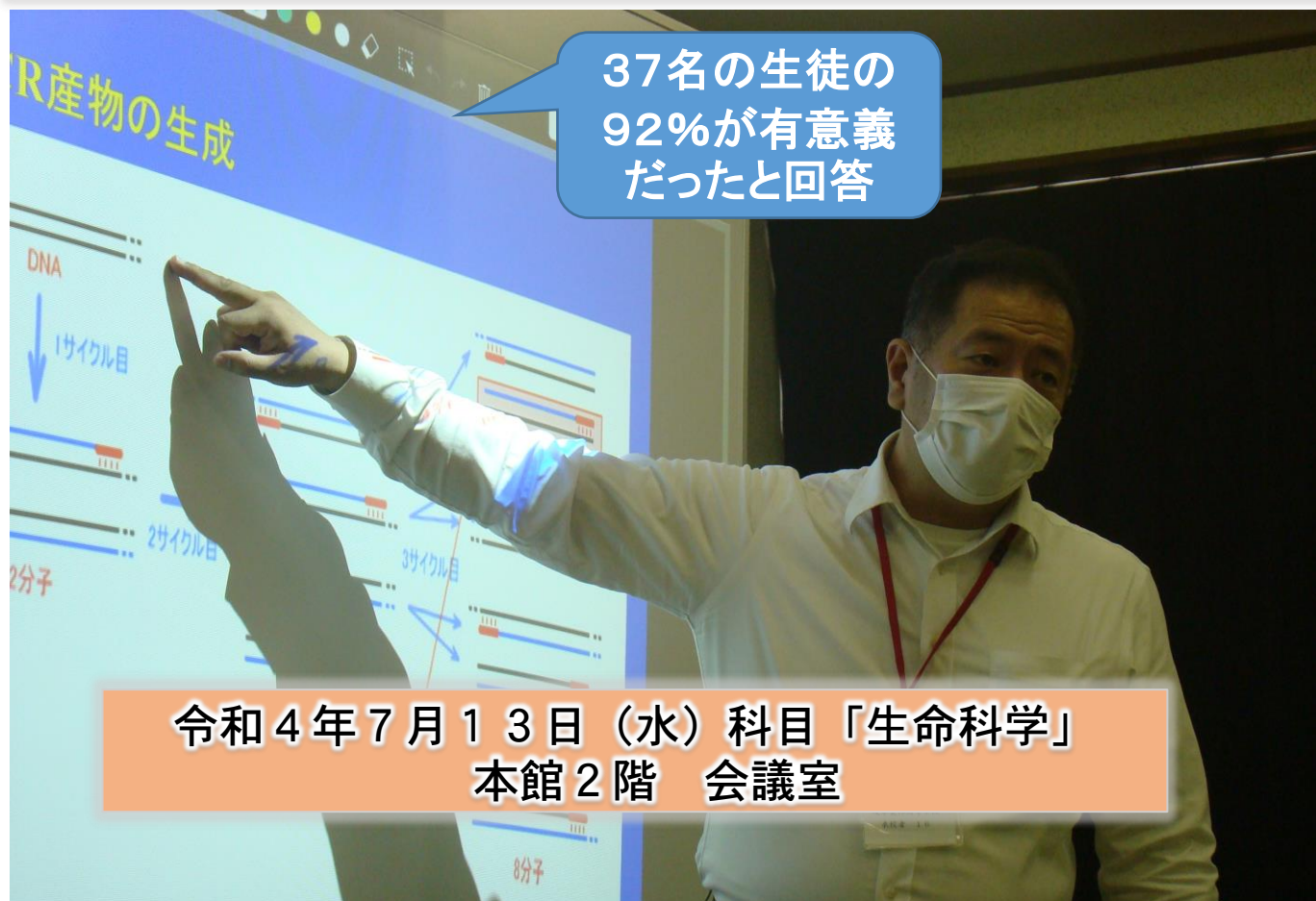
講師 岐阜医療科学大学 永井 慎 氏

新型コロナウイルスの正体はRNA。逆転写によりDNA（2本鎖）にしてからリアルタイムPCRにかけ、PCR産物の量が分かります。この技術で陽性か陰性か判断できる。



左：講演会の様子 中：講師 永井 慎 氏 右：3年生物工学科生徒

今、話題となっているPCR検査を、遺伝子の分子レベルでの変化を分かりやすく図示しながら説明して頂きました。



令和4年7月13日（水）科目「生命科学」
本館2階 会議室

生物工学科 プロジェクトの紹介

アボカド葉から未分化の細胞 (カルス) が出てきました



温暖化が進み、**岐阜でも亜熱帯作物**が栽培できる可能性があります。そこで、「アボカド」を**新たな岐阜の特産物**にすることを目指してしています。



左：培養物の観察の様子

右：アボカドの苗

アボカドの耐寒性のある品種の組織培養し、苗の大量生産が可能となるよう研究しています。



令和4年5月27日から6月27日・31日間培養
生物工学科棟1階 植物培養室